

この『生きがい通信』は、兵庫県生きがい創造協会本部の事業や県内各地の高齢者大学の諸事業、各施設の情報をお知らせしています。



新年のごあいさつ

公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会

理事長 林 省吾



あけましておめでとうございます。

昨年は、野球にサッカーにと関西が大いに盛り上がりました。

その中でも、38年振りの阪神タイガース日本一では、その原動力となった合言葉

「アレ(ARE)」が、ひときわ注目されました。

この合言葉には、「個人・チームとして明確な目標」に向かうAim。「スポーツや関係する皆さんへの敬いの気持ち」を持つ Respect。「個々がさらにパワーアップ」するEmpower。という想いが込められていたそうです。

すなわち、この3つの実践目標に、チーム一丸で取り組むことで成しえた栄冠であったといってもよいのかもしれませんが。

阪神ファンの皆さんは、“次は連覇だ”ともう来シーズンへの期待をふくらませていることと思いますが、阪神を応援される方もそうでない方もいかがでしょうか。次は、自分への合言葉として「アレ(ARE)」を実践してみませんか。

生きがい創造協会は、教養を高め、多様な人々と出会い、自らの向上を図りながら生きがいを感じ人生を豊かにする取り組みを支援しています。

無理をせず自分らしく「アレ(ARE)」を目指してみるのも良いのではないのでしょうか。皆さんにとって良い年になりますことをお祈りします。

兵庫県生きがい創造協会の各施設【協会ホームページ <https://www.hyogo-ikigai.or.jp/ikigai>】

◎ 兵庫県いなみ野学園	加古川市平岡町新在家 9 0 2 - 3	☎ 0 7 9 - 4 2 4 - 3 3 4 2
◎ 生涯学習部	同上	☎ 0 7 9 - 4 2 4 - 3 3 8 0
◎ ひょうごラジオカレッジ	同上	☎ 0 7 9 - 4 2 4 - 3 3 4 3
◎ 阪神シニアカレッジ	宝塚市東洋町 2 - 5	☎ 0 7 9 7 - 2 6 - 8 0 0 1
◎ 嬉野台生涯教育センター	加東市下久米 1 2 2 7 - 1 8	☎ 0 7 9 5 - 4 4 - 0 7 1 1
◎ 西播磨文化会館	たつの市新宮町宮内 4 5 8 - 7	☎ 0 7 9 1 - 7 5 - 3 6 6 3
◎ 但馬文教府	豊岡市妙楽寺 4 1 - 1	☎ 0 7 9 6 - 2 2 - 4 4 0 7
◎ 淡路文化会館	淡路市多賀 6 0 0	☎ 0 7 9 9 - 8 5 - 1 3 9 1

全国公民館研究集会兵庫大会を開催

全国各地の公民館等社会教育・生涯学習関係者が集う「第45回全国公民館研究集会兵庫大会」「第70回近畿公民館大会兵庫大会」「第66回兵庫県公民館大会」が11月24日（金）いなみ野学園で開催されました。

大会にはオンラインを含め全国から約500名が参加、「地域の“幸”民館を目指して～全ての人のウェルビーイングのために公民館が出来ること～」をテーマに、今後の公民館のあり方等について研究協議が行われました。

午前には、主催者挨拶や全国公民館連合会表彰等の開会行事に続き、文部科学省総合教育政策局社会教育振興総括の八木和広氏から文部科学省の施策説明が行われました。



午後からの基調講演では「文化による社会包摂」をテーマに劇作家・演出家で芸術文化観光専門職大学の平田オリザ学長による基調講演が行われました。

平田学長は「文化施設は全ての住民を巻き込むとともに、子供の居場所づくりとしての役割も必要である」などと訴えられました。



続いて行われたパネルディスカッションでは、オンラインも含め県内外の公民館館長や高校生らが登壇し「子供の居場所」や「社会教育施設のデジタル基盤強化」などについて、会場参加者も含めた熱心な議論が行われ、最後に東京大学大学院教育研究科の牧野篤教授による総評がありました。



創立60周年記念式典を開催

11月29日（水）「但馬文教府創立60周年記念式典」を開催しました。

式典には但馬出身の国会議員の事務所長を始め多くの来賓とみてやま学園生など約200名の方々に出席いただきました。

オープニングアトラクションとして、みてやま学園コーラスクラブによる合唱とみやびの会（みてやま学園平成26年度修了生有志）による傘踊りを披露していただき式典に華を添えていただきました。

また、3名の但馬選出の県議会議員からは、昭和38年の開設から但馬文教府が取組んできた各種事業への称賛と共に、これからの但馬における地域づくりの拠点としてさらなる発展に期待する旨のご祝辞をいただきました。



その後、日本の陸上界を代表するオリンピックでスポーツコメンテーターの小林祐梨子氏に「人と絆（たすき）に込めた想い」と題して記念講演をいただきました。

この講演会は「みてやま地域公開講座」として、みてやま学園生だけでなく一般の聴講も多数あり大盛況となりました。

但馬文教府が令和6年度から指定管理者が民間受託者となる現状を踏まえ、基本路線を維持しつつ、今後も文化・教育・芸術など、様々な生活創造活動を支援する施設として発展し続けるために大きな刺激を受ける機会となりました。



開校50周年を迎えました

淡路文化会館「いざなぎ学園」50周年記念式典を11月8日（水）に開催しました。当日は、いざなぎ学園大学生・大学院生、関係者ら約150名の参加のもと、50年の歩みを振り返るとともに、学園生同士の親睦を深める機会となりました。

学園長式辞等の式典後、「いざなぎ学園」音楽サークル講師 佐竹裕子先生と倉本しず代先生による記念コンサート「歌声は心をつなぐ」～さあみんなで歌いましょう～を実施しました。佐竹先生のソプラノの歌声に心癒され、参加者全員で歌った唱歌も一体感があり感動したとのお声をいただきました。

続いての学年発表、サークル発表では、ダンスや歌などそれぞれに練習を重ね、日頃の活動の成果を披露しました。

これからも「いざなぎ学園」が皆さまの生きがいつくりの一助となることを願っています。



各施設だより

いなみ野学園だより

いなみ野祭「共に学び 共に楽しむ」を開催

いなみ野学園の最大のイベント「いなみ野祭」が11月18日（土）・19日（日）の2日間にわたって開催されました。

昭和48年に第1回が開催されて以来、毎年、学生の手により、プログラム構成、演目、作品展示と準備が進められ現在に至っています。今回は50回目を迎える節目のイベントとなりました。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症対策のため、全面中止や関係者のみでの開催、入場者の制限などにより実施してきましたが、本年5月の規制の大幅な緩和により、ほぼ例年どおりの開催となり、学生のご家族、地域の皆様に多数ご来場いただきました。

今年のテーマは「共に学び、共に生きる」、学生たちが学園内の活動で完結することなく地域と共に生きる、いなみ野学園にふれていただけた2日間でした。

また、開会式の中では、いなみ野学園のOBで構成される同窓研修会サークル活動組織「いなみ会パソ友」の長年にわたるパソコンを活用した地域ボランティア活動が評価され、「兵庫県くすのき賞」が授与されました。地域に密着して活躍されている多数の卒業生がいるのは、いなみ野学園の大きな誇りです。



ひょうごラジオカレッジだより

令和5年度地方スクーリングを開催しました

今年度も県内6地区において、ラジオ講座出演講師による共通講義や、地元の講師による講義、学生発表など、各地区毎に充実した内容で開催しました。

担当の各地区友の会の方々の準備とご協力により、新型コロナウイルス感染対策を徹底した中で、延べ約400名もの学生が参加しました。

共通講義は、講演家・オカリナ奏者のさくらいりょうこ先生に、「生きるを伝える」と題して、「幸せの方を向いて生きる」ことについて、オカリナ演奏を交えながらお話いただきました。

そのほか、各地区別に友の会の企画による地元講師による講義「尼崎城と尼崎の歴史について」「ガイドから見た利神城跡と平福の町並み」「故郷に学ぶ山片蟠桃」「地域に支えられて～やりたいことだらけの67歳～」や学生発表が実施されました。

参加された学生の皆さんは、共に学びを深めるとともに久しぶりの顔合わせで、嬉しさと笑顔のなか、楽しく交流されていました。

【地区・日時】

丹波	10月6日(金)	丹波篠山市・丹南健康福祉センター
阪神・神戸	10月16日(月)	尼崎市・小田南生涯学習プラザ
西播磨	10月18日(水)	佐用町・さよう文化情報センター
東播磨	10月20日(金)	高砂市・勤労者総合福祉センター
但馬	10月23日(月)	豊岡市・市民会館
淡路	10月25日(水)	洲本市・総合福祉会館



「全国健康福祉祭えひめ大会」兵庫県選手団が活躍しました

「ねんりんピック」の愛称で親しまれる高齢者のスポーツと文化の祭典「全国健康福祉祭えひめ大会」が、10月28日(土)～31日(火)の4日間にわたり、愛媛県下の全市町でスポーツや文化の交流大会のほか、多彩なイベントが展開されました。

このねんりんピックは、昭和63年に兵庫県で第1回が開催され、今回で第35回目を迎えます。

愛媛県総合運動公園陸上競技場で行われた総合開会式では、晴天の下、林省吾団長(生きがい創造協会理事長)以下、兵庫県選手団が堂々と入場行進を行いました。

そして、兵庫県からはスポーツ17種目、文化2種目の計19種目に139名の選手・監督が参加しました。各種目で健闘された結果、ペタンクの優勝をはじめ15種目で入賞を果たしました。

なかでも、兵庫県選手団の最高齢者は、マラソンに出場された86歳の男性で「最高齢者賞」を受賞されました。



第20回ツウゲットボール全県大会を開催しました

生きがい創造協会がグランドゴルフをアレンジして開発した「ツウゲットボール」全県大会を11月13日(月)に姫路市立球技スポーツセンターで開催しました。

第20回となる今回は、県各地から32チーム160名が出場し、ホールインワン賞が15名も出る等、終日、熱戦が繰り広げられました。

いなみ野学園からも2チームが出場。4チームが総当たりで対戦する予選リーグを見事な成績で突破したものの、勝ち抜き戦の決勝トーナメントでは、それぞれ優勝・準優勝チームに惜しくも敗退。選手たちは来年度のリベンジを誓っていました。

【競技結果】

- 優勝 日本海香住チーム(但馬)
- 第二位 SG21 広畑第二GG(中播磨)
- 第三位 ゆきんこA(但馬)
- 敢闘賞 石田同好会B(東播磨)



「阪神シニアカレッジ文化祭2023」を開催

10月11日（水）・12日（木）に「阪神シニアカレッジ文化祭2023」が開催されました。昨年に続き、カレッジの新学舎で行われる2回目の文化祭となりました。

今回の文化祭は、日ごろから文化活動に取り組む各クラブ代表などの学生を主体とする実行委員会によって運営されました。コロナ禍における制限もなくなったなか、創意工夫をこらし、学生同士で協力連携しながら普段の学び舎であるカレッジの施設を最大限に活用して、コンパクトながらもカレッジならではの充実した賑わいのある催しとなりました。

11日・12日に301教室（交流ホール）で行われた作品展では、5つのクラブと学生個人2名がそれぞれ力作を出展し、12日に開催された401教室（大教室）での舞台発表では、9つのクラブによるパフォーマンスが繰り広げられ、いずれも日ごろから積み重ねた活動や練習の成果をいかに発揮することができました。

12日には作品展、舞台発表に出展、出演した学生や卒業生の多くが互いの会場を行き来して観客として参加する姿もみられ、学科・講座、学年、所属クラブの枠を超えた交流の良い機会ともなりました。



親子DAYキャンプ「親子で防災コース」を開催

嬉野台生涯教育センターでは9月30日(土)に親子DAYキャンプ「親子で防災コース」を開催しました。

このコースで今回は、火おこし&野外炊事のプログラムで竹飯盒を使って、ごはんを炊きました。初めての試みで期待と不安がありましたが、無事に終わることができました。



親子DAYキャンプでは親子のふれあいやコミュニケーションの機会を提供し、子どもたちの経験の幅を広げることを目的としています。「親子で防災コース」は災害時に役立つ知識を楽しく学ぶことや災害時に自分の命や大切な方の命を守るために必要な知識を学ぶために実施しています。

まず、このコースに参加してもらうための注意事項を説明し、自己紹介やアイスブレイクというゲームを行う「はじめの会」を実施しました。親子で当センターに来館し、初めて出会う参加者もいる中で緊張している様子でしたが、他の参加者と触れ合うことで徐々に緊張が解け、活発な活動を行うことができました。

次に、体験工作棟に移動し、野外炊事を実施しました。体験工作棟近くの竹林に入り、ごはんを炊くための竹を調達し、ドラム缶コンロで竹飯盒が使えるように竹を加工しました。炊飯器でごはんを炊くのは違い、じっくり時間をかけることで美味しいごはんを炊くことができました。また、災害時に家電を使用せずにごはんを炊くという方法を学ぶことができました。



最後に、災害時に役立つアウトドアグッズを紹介しながら、使い方を学びました。普段アウトドアで使用しているグッズが災害時に役立つこともあり、参加者は興味を持って話を聞いていました。

参加者の感想としては、「初めての経験がとても楽しかった」や「初めての経験がとても新鮮だった」との感想が一番多く、普段生活している中では経験できないことを経験することができ、大変好評でした。

ゆうゆう学園祭 ～心いきいき笑顔ひろがる学園祭2023～ 開催

11月3日（土）ゆうゆう学園（西播磨高齢者文化大学・大学院）最大の行事、「ゆうゆう学園祭」を開催しました。学生たちは数か月前から準備と練習を重ね、本番ではダンス、楽器演奏、祭り舞台など学年ごとに工夫を凝らした芸能発表や日頃のクラブ活動の成果を披露しました。感染症予防のため今年も関係者のみによる開催となりましたが会場は大いに盛り上がり、大会スローガンのとおり、出演を終えた学生たちの顔は笑顔と達成感にあふれていました。また、同時開催したクラブ作品展では、陶芸・水墨画・写真・手芸・園芸・パソコンクラブの力作を展示し、来館者の目を楽しませました。



ゆうゆう学園地域公開講座 受講生募集

ゆうゆう学園並びに西播磨文化会館の各事業への関心を高めるために、地域公開講座(第3回・第4回)を開催します。現在、受講生を募集中です。

- 【第3回】令和6年1月19日（金）
高齢者の消費者被害防止のために
ひめじ市民法律事務所 弁護士 平田 元秀 氏
- 【第4回】令和6年2月2日（金）
勝負師の先の読み方・考え方
日本将棋連盟プロ棋士7段 神吉 宏充 氏

【各回共通】

時間 10:15～11:45 受付 9:45～
会場 西播磨文化会館講堂（たつの市新宮町宮内458-7）
定員 50名（申込順）
受講料 無料
申込み 電話申込 西播磨文化会館（0791-75-0992）へ

ゆうゆう学園（西播磨高齢者文化大学）

地域公開講座 受講生募集

第3回 令和6年1月19日（金）10:15～11:45

高齢者の消費者被害防止のために



ひめじ市民法律事務所
弁護士 平田 元秀 氏

第4回 令和6年2月2日（金）10:15～11:45

勝負師の先の読み方・考え方

日本将棋連盟プロ棋士 神吉 宏充 氏

会場 西播磨文化会館 受付 9:45～
定員 各50名（申込順） 受講料 無料
申込み 西播磨文化会館（0791-75-3663）へ
受付時：平日のみ 9:00～17:00

備考

開講時以降、たつの市に気象警報が発令された場合は中止します。西播磨文化会館ホームページでご確認ください。



西播磨文化会館



（公財）兵庫県生涯学習・創造協会 西播磨文化会館
〒679-4311 たつの市新宮町宮内458-7
TEL:0791-75-3663 FAX:0791-75-0992

西播磨ふるさと文化祭2023開催

11月26日（日）西播磨ふるさと文化祭2023（主催：兵庫県生きがい創造協会西播磨文化会館、兵庫県西播磨県民局）を開催しました。この行事は、西播磨地域の芸術文化活動の発信と交流を促し、ふるさとづくりに向けた意識の醸成を図ることを目的としており、子どもから高齢者まで世代を越えて楽しみ、感動できる芸術文化祭にしようと、毎年行っているものです。

開会行事で兵庫県自治賞、兵庫県くすのき賞等の表彰を行った後、芸術文化団体による西播磨ステージ、「子どもも大人も楽しめる文化体験教室」などの体験コーナー、さらに展示・販売など多彩な催しを行い、会場の西播磨文化会館の館内は終日活気に満ちていました。



第57回 小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」表彰式を開催しました

但馬文教府では、但馬で生活する子どもたちが作文・詩の表現を通して、意欲的に自らの生活を見つめ、社会の形成者としての役割と責任を自覚し、ふるさと但馬を拓く担い手となる資質を身につけることを目的に、小・中学生から作文・詩を募集しています。

今年度も、但馬内の小・中学校から、合計179点（小学校100点、中学校79点）の作品が出品され、優れた作品を選考しました。中でも、極めて優秀な作品である特選作品13点は、12月2日（土）表彰式を開催し、表彰しました。

特選、入選作品は、作文・詩集「但馬の子ども」第57集として、令和6年3月に作品集を発刊予定です。



みてやま学園大学院の実践活動発表会を開催しました！

12月8日（金）みてやま学園の大学院生が自らテーマを決めて計画し、現地調査した内容等を今年1年間の活動報告としてまとめ、発表する実践活動発表会を開催しました。

1年生は、但馬の歴史・自然遺産や寺院、地元企業等を訪問した様子、日高高校看護科1年生の看護実習先としてコミュニケーション能力を養成する目的で異世代間交流を図った様子、豊岡短期大学学園祭の食のフェアに模擬店を出店した様子を発表しました。

2年生は、3班に分かれて調査を行った成果を発表しました。1班は「豊岡の市街地活性化～古民家活用から学ぶ～」と題して、豊岡の地域おこし協力隊の取組を取り上げ、地域住民である自分たちができることを、2班は「ジオパークと私たちの暮らし」と題して、ジオパークに認定された但馬の地形や自然が地域の生活全般を形作っている具体例を、3班は「但馬の温泉探究」と題して、但馬域内にある温泉を訪ね、地域における温泉の果たす役割と今後の活用方法を考えてそれぞれ発表しました。



2023「国生みの島元気っ子フェスティバル」を開催！

10月1日（日）に開催した「国生みの島元気っ子フェスティバル」は、好天にも恵まれ、約2,000人の参加者で賑わいました。竹工作、バルーンアート、白バイでの記念撮影など多数のブースに行列ができ、いざなぎ学園生の出展したブースにもたくさんのお子どもたちが訪れ、ゴム鉄砲や輪投げなど懐かしい昔遊び体験に声を弾ませていました。

また、地元中学の吹奏楽部やダンスグループのステージ発表では、講堂いっぱいの観客で賑わいました。大学生、高校生の皆さんにも、運営ボランティアとしてご協力いただき、幅広い世代での交流が深まりました。参加者からは「大人も子ども一緒に楽しめた」「体験ブースが楽しかった」と大変好評でした。



令和6年度「生涯学習講座」のご案内

兵庫県いなみ野学園（加古川市）

募集講座 ①大学講座（4年制）
園芸、健康づくり、文化、陶芸学科 募集定員計340名
陶芸学科専修コース 若干名
②大学院講座（2年制） 50名

対象 ①は56歳以上の県内在住者、②は県内在住者（要件あり）

受講料 年間5万円（他、入学金、実習費等）

募集受付期間 令和6年1月4日（木）～1月19日（金）
※応募者多数の場合は抽選

お問い合わせ ☎079-424-3342
〒675-0188 加古川市平岡町新在家 902-3
兵庫県いなみ野学園



 いなみ野学園

兵庫県阪神シニアカレッジ（宝塚市）

募集講座 ①大学講座（4年制）
園芸、健康、国際理解学科 募集定員各50名
②阪神ひと・まち創造講座（2年制） 募集定員30名

対象 56歳以上の神戸、阪神地域在住者

受講料 ①年間5万円（他、入学金、実習費等）
②年間2万5千円（他、入学金等）

募集受付期間 令和6年1月4日（木）～1月12日（金）
※応募者多数の場合は抽選

お問い合わせ ☎0797-26-8001
〒665-0032 宝塚市東洋町 2-5
兵庫県阪神シニアカレッジ



 阪神シニア

ひょうごラジオカレッジ（ラジオを使った通信講座）

学習方法 ・毎週土曜日午前7:00～7:30にラジオ関西で放送する講義を聴いて、はがきやメールなどで感想文を提出します。
・テキストは毎月郵送されます。
・放送はパソコン、スマートフォンでもお聴きいただけます。

対象 ラジオ講座による学習に意欲のある方。年齢・住所は問いません。

受講料 県内在住者 年間6千円 県外在住者 年間7千円
（テキスト代を含みます。）

募集受付期間 令和6年2月1日（木）～4月5日（金）

お問い合わせ ☎079-424-3343
〒675-0188 加古川市平岡町新在家 902-3
ひょうごラジオカレッジ



 ひょうごラジオカレッジ

令和6年1月発行

公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会

〒675-0188 加古川市平岡町新在家 902-3

TEL:079-424-3380 FAX:079-424-3475